

時が熱狂と偏見を やわらげた暁には

2008/10/21 06:34

パール博士の偉業を千古に伝へん

タイミングがずれてしまいましたが、昨日の午後、秋の例大祭最終日の靖國神社に参拝してまいりました。静かな靖國神社でした。



静かな靖國神社、平日なので参拝者もまばらでした。

個人的には8月15日以来、今年五回目の参拝でしたが、境内は能楽堂の修理が始まり、「御創立百四十年記念事業御奉賛及び靖國神社崇敬奉賛会ご入会のお願い」の大きな看板が目につきました。

昨年8月14日放映のNHKスペシャル「[パール判事](#)は何を問いかけたのか～東京裁判・知られざる攻防～」以来、また中島岳志著「[パール判事](#)—東京裁判と絶対平和主義」が出版されてから、[パール](#)判決の解釈を巡って小林よしのりと中島岳志両氏の論争が続いています。

私自身はもちろん、小林支持ですが、これを機会に[パール](#)博士顕彰碑に刻まれた意見書の結語と南部利昭宮司の言葉を改めて紹介致します。ここに来られる方は「何を今更」と思われるでしょうが、南部宮司の言葉が良識ある日本人のパール像ということであえて再掲しました。



誤った歴史認識を是正せよと60年前から訴えた[パール判事](#)

意見書の結語

時が熱狂と偏見を やわらげた暁には
また理性が虚偽から その仮面を剥ぎとった暁には
その時こそ正義の女神は その秤を平衡に保ちながら
過去の賞罰の多くに
そのところを変えることを 要求するであろう

[ラダ・ビノード・パール](#)

頌（しょう）

[ラダ・ビノード・パール](#)博士は、昭和21年（1946）年5月東京に開設された「極東国際軍事裁判所」法廷のインド代表の判事として着任され、昭和23年11月の結審・判決に至るまで、他事一切を顧みることなく専心この裁判に関する膨大な史料の調査と分析に没頭されました。

博士はこの裁判を担当した[連合](#)国11ヶ国の裁判官の中で唯一人の国際法専門の判事であると同時に、法の正義を守らんと熱烈な使命感と、高度の分明史の見識の持ち主でもありました。

博士はこの通称「東京裁判」が、勝利に傲（おご）る連合國の、今や無力となった敗戦國日本に対する野蛮な復讐の儀式に過ぎない事を看破し、事実誤認に満ちた[連合](#)國の訴追には法的根拠が全く欠けている事を論証し、被告団に対し全員無罪と判決する浩瀚（こうかん）な意見書を公にされたのであります。

その意見書の結語にある如く、大多数[連合](#)國の復讐熱と史的偏見が漸く収まりつつある現在、博士の裁定は今や文明世界の国際法学界に於ける定説と認められたのです。

私共は茲（ここ）に法の正義と歴史の道理とを守り抜いた[パール](#)博士の勇気と情熱を顕彰し、その言葉を日本國民に向けられた貴重な遺訓として銘記するためにこの碑を建立し、博士の偉業を千古に伝へんとするものであります。

平成17年6月25日

靖國神社

宮司 南部利昭



境内で行われていた奉納菊花展からスナップしました。

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(39\)](#)

タグ: [靖國神社](#) [パール判事](#) [小林よしのり](#) [南部宮司](#)

コメント(39)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)

Commented by [ぱんたか](#) さん

2008/10/21 07:59



お早うございます。

2008/10/21 09:18

>ここに来られる方は「何を今更」と思われるでしょうが、南部宮司の言葉が良識ある日本人のパール像ということであえて再掲しました。

あの四面楚歌の中で正義を貫き、日本への熱い思いを説き続けたパール博士の偉業に賞味期限はありません。

折りに触れ、言葉を変えて、このことを伝え続ける責務が私たちにはあります。

気付いた人が、それぞれの立場でこれを表明することで、卑屈な日本人の目を醒まさせることに繋がると思います。



Commented by **花うさぎ** さん

To ぱんたかさん おはようございます。

>折りに触れ、言葉を変えて、このことを伝え続ける責務が私たちにはありません。

これだけいろんな識者が訴え、雑誌をはじめとする言論出版で度々取り上げられているので、もうほとんどの人が知っているか、というと実はそうでもないというのが悲しい現実ですね。

>それぞれの立場でこれを表明することで、卑屈な日本人の目を醒まさせることに繋がると思います。

賛成です。

マッカーサーは「アメリカは戦う相手を間違えた、東京裁判は誤りだった、日本の戦いは自存自衛の戦いだった」と自ら云っているのですから、これが結論だと思っているのですが、まだまだ日本人の中にはそう思いたくない勢力がたくさんいるようです。



Commented by **du-staro** さん

hanausagi様

2008/10/21 09:39

おはようございます。

東京裁判が、勝者の敗者に対する復讐の儀式で、法的根拠のないものだとすれば、戦争責任者はどういう場で裁かれなければならなかったのでしょうか。

戦争指導者は、この戦争の敗戦の責任があります。勝てない戦争をあえて始め、戦死者230万人のうち、餓死者が140万というまずい戦略で、かつ国内の空襲・原爆投下を許して軍人以外の数多の戦争被災者を出し、国民生活を破壊した責任は誰が負うべきなのか。

戦前の憲法では主権者であり、戦後の憲法では国民統合の象徴である天皇に対し、臣下としての責任をとるべきだと思います。東条英機などは、自裁の覚悟はあったようですね。

昭和天皇はそういう戦争責任者を許しておられなかったと思います。だから彼らを靖国神社が勝手に合祀したのを諒とされなかったのでしょうか。



Commented by **花うさぎ** さん

・お知らせです。

2008/10/21 10:52

【二千人委員会・チャンネル桜支援講演会のお知らせ】

二千人達成をめざして、チャンネル桜二千人委員会・連続講演会がスタートします。その第一弾と第二弾のお知らせです。

どなたでも参加可能ですので、皆様、是非お越しください！

【第1弾】米中「同盟」はどこへゆく ～ 一連托生の米中経済危機 ～

■講演者:青木直人(ジャーナリスト)先生

■コーディネーター:水島総(日本文化チャンネル桜代表)

■日時:平成20年11月1日(土曜)18:00~20:00(受付開始17:30より)

■場所:代々木区民会館3階 渋谷区代々木3-51-8TEL:03-3370-7741

- 入場料:無料
- 主催:「チャンネル桜二千人委員会」新宿支部
- *会場の定員が80名につき、先着順とさせていただきます。
- ご希望の方は電話またはFAXでお申し込み下さい。

【第2弾】国境のまち「対馬」が危ない

- 基調講演:大高未貴(ジャーナリスト)女史
- シンポジウム:小磯明都議(東京都議)・吉田康一郎(東京都議)・松浦 芳子(杉並区議)ほか
- 日時:平成20年11月8日(土曜)18:30~20:30(受付開始17:30より)
- 場所:産業商工会館講堂 杉並区阿佐ヶ谷南3-2-19TEL:03-3393-1501
- 入場料:無料
- 主催:「チャンネル桜二千人委員会」杉並支部

◆ お問い合わせ先

「[日本文化チャンネル桜](#)二千人委員会」事務局(月~土 10:00~18:30)

TEL 03-6419-3900 / FAX 03-3407-2263



Commented by [花うさぎ](#) さん

To du-staroさん

阿比留さんのブログやここでも過去ログを見ると同じような論争をしているから探してみてください。

- ・東條英機首相は開戦責任は認めなかったが敗戦責任は認めて死刑になりました。
- ・原爆・無差別爆撃の責任は国際法を無視した米軍にありますから、[アメリカ](#)に責任追及して下さい。
- ・昭和[天皇](#)も武道館の慰霊祭ではいわゆる[A級戦犯](#)も含めて慰霊している事実があります。



Commented by [kaigaramusi](#) さん

花うさぎさん、こんにちは。
まだまだセミの鳴き声がうるさい島です。

2008/10/21 13:56

[靖国神社](#)は、生きているうちに必ず一度は訪れなければならないと夫婦で考えています。
祀られている英霊の方々に私達家族を見ていただきたいです。
日本人として、日本で幸せに生きていることを感謝したいです。



Commented by [花うさぎ](#) さん

To kaigaramusiさん こんにちは。

2008/10/21 14:20

>まだまだセミの鳴き声がうるさい島です。

ということは気温も暑いのでしょうか。

>[靖国神社](#)は、生きているうちに必ず一度は訪れなければならないと夫婦で考えています。

是非とも(^^)。

>祀られている英霊の方々に私達家族を見ていただきたいです。

きっと優しい微笑みで迎えてくれることでしょう。

>日本人として、日本で幸せに生きていることを感謝したいです。

本当ですね。それだけに愛すべき日本を舐めようとする勢力とは一歩も引かずに戦わねば、と考えています。

いつだったか、[遊就館](#)でパラオ展をやっていて、そこで流れていたビデオの中で、パラオの長老が「日本人は毎朝靖国神社の方角に向かって英霊に感謝の祈りをして下さい」という言葉を聞いたとき、思わずこみ上げるものを押さえきれませんでした。

2008/10/21 15:16

パラオは建国に当たって国旗を日本にならってデザインしたほどの親日国ですが、そのパラオの人から見ても統治時代と比較していまの日本人に危惧を感じているのでしょうか。



Commented by [du-staro](#) さん
hanausagi 様

>・東條英機首相は開戦責任は認めなかったが敗戦責任は認めて死刑になりました。

東京裁判の死刑が妥当だったのかどうか・・・、江戸時代なら死罪ではなく切腹だったかもしれません。

>・原爆・無差別爆撃の責任は国際法を無視した米軍にありますから、[アメリカ](#)に責任追及して下さい。

戦争に負けた国が何を言うか、と言われるでしょうね。敗戦はつらいものです。世界は腹黒いのです。

>・昭和[天皇](#)も武道館の慰霊祭ではいわゆる[A級戦犯](#)も含めて慰霊している事実があります。

霊と神は違うのです。靖国には一般の戦争被災者はいません。靖国の英霊は主に戦死した軍人・軍属で、天皇の勅許を受けて神になるのです。



Commented by [花うさぎ](#) さん
To du-staroさん

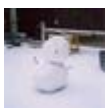
2008/10/21 16:31

>霊と神は違うのです。靖国には一般の戦争被災者はいません。靖国の英霊は主に戦死した軍人・軍属で、天皇の勅許を受けて神になるのです。

貴方の2008/09/25 16:09のコメントです。

>[靖国神社](#)に祀られている軍人は、天皇の勅令によって国の英霊になるのです。[A級戦犯](#)は[靖国神社](#)が私的に祀っているだけで、天皇の勅令がありませんから、国の英霊ではありません。

続きはそちらをご覧ください。ご承知でしょうけど、私は阿比留さんほど我慢強くはないですよ。



Commented by [すずめめだか](#) さん
花うさぎさん、こんにちわ。

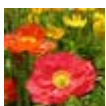
2008/10/21 16:39

私はここに来られる方のように深く歴史を勉強していない主婦です。ですから感覚で捉えるのですが、原爆を落とされた国がその兵器を作ったのでもなく、落とせと命令したのでもないのになぜ、責任追求されるのか分かりません。戦争を始めたからといわれても原爆を落とさない選択もあるはずです。

先日[キューバ危機](#)の映画をテレビで見ました。

ケネディ大統領は攻撃を回避し性も根も尽きた映像がありました。それを見て原爆投下を決断した時の大統領は被害を受ける人々に思いをめぐらし想像する頭は無かったのかと考えました。

花うさぎさんや阿比留さんのページの東京裁判関連が書かれると日本がひたすら悪い主観で書き込みをされる方の頭もこれに重なって見えます。



Commented by [相模](#) さん

2008/10/21 17:52

明治24年、[ロシア](#)皇太子ニコライ2世来日の折発生した大津事件。政府は[ロシア](#)に恐れを抱き、犯人の津田三蔵を死刑にせよ、と裁判官・児島惟謙に迫りました。

ご承知のように、児島は津田を死刑に処する法がないこと及び、司法の独立を盾にこれ

を拒否、津田を無期に処しました。

西洋に倣った法治国家として歩み始めた日本は、毅然とした態度でこの時代スジを通しました。[パール](#)博士の態度もこれと同じ。事後法で裁くのは間違い、法廷はGHQの私物ではないとしてスジを通しました。

法の先進国としてアジアを見下していた西洋人が、実は見下したアジア人以下の愚劣な醜態を見せ付けていただけでした。

[パール](#)博士も児島裁判長も、その意味でアジアの宝、法の良心と思います。



Commented by [花うさぎ](#) さん

2008/10/21 18:23

To [すずめだか](#)さん こんにちは。

>なぜ、責任追求されるのかわかりません。戦争を始めたからといわれても原爆を落とさない選択もあるはずですよ。

9月19日の「閉ざされた言論空間」のエントリーでも指摘したとおり「戦争についての罪悪感を日本人の心に植えつけるための宣伝計画」略称WGIP(ウオー・ギルト・インフォメーション・プログラム)に洗脳された自虐史観に染まった日本人がいまでも多いからですね。

その典型的な例が広島原爆死没者慰霊碑に刻まれた「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」という文です。[連合](#)国軍最高司令官ダグラス・マッカーサーという署名が入っていれば意味はスッキリしますが、主語がないので「日本が悪いことをしたから原爆を落とされたのだ」と読まれても仕方がありません。

[アメリカ](#)はいまでも「これによって上陸すれば犠牲になったであろう多くの米軍兵士の命を救った」などと原爆投下を正当化していますが、真っ赤なウソです。日本の実情をとつくの昔に極めて正確に把握していたのです。

事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数カ所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。そして原爆の威力を調査検証する作業は念を極めました。

背景には白人キリスト教国家の根強い人種差別があったという指摘もあります。もちろん、このことは[アメリカ](#)国民にも伏せられていました。いまでも[アメリカ](#)は原住民インディアンの大虐殺、大量のアフリカ黒人奴隷の使役、日本への原爆投下という三つの大罪をト**ラウマ**として引きずっているのです。



Commented by [花うさぎ](#) さん

2008/10/21 18:24

つまり、世界は「腹黒い」のです。逆に日本は初心(ウブ)とも云えるほどの純真さ、真面目さ、誠実さを持って事に当たってきました。いまの日本人は大戦前は白人国家が世界のほとんどを植民地化し収奪と虐殺の限りをつくしていたという事実を改めて勉強し直す必要があります。

こうした歴然たる事実には目をつむって、ひたすら「日本は悪かった」といまでも言い続けている勢力がまだまだ多いということです。そして、そういうことにしておいた方が自らの利益に繋がる、という戦後レジームはまだまだ健在です。

[すずめだか](#)さんのように、普通の常識感覚を身につけた日本が好きな日本人が増えてくれることを願うばかりです(^ ^)。



Commented by [- さん](#)

2008/10/21 19:37

hanausagiさん はじめまして

ご存知かもしれませんが、[パール](#)判事の顕彰碑は京都東山の護国神社にもあります。坂本竜馬、中岡慎太郎、桂小五郎ほか志士達の御霊が祀られていてお参りするだけで維新前夜の気分になれる気がします。

そのわきに高さ2mほどの立派な写真入りの碑があって、アナウンスが流れるようになっています。

拙宅の不肖の中坊二人に30分ほどこんこんと、いかに日本人が忘れてはならぬお方と言って聞かせたことをふと思い出しました。

Commented by [ぱんたか](#) さん

2008/10/21 20:43



To du-staroさん

2008/10/21 21:31

率直に言って、このような立論に違和感を覚えます。

聞いていると、所謂戦争責任者だけに責任があつて国民に責任はなく、寧ろ被害者であつたというように聞こえますが、これはは少し飛躍していませんか。

もしそれが避けることが出来る戦争だつたとして、果たして、国民に責任はなかつたのでしょうか。

人を責めると同時に、同じ日本人として自分自身の責任も反省すべきではないでしょうか。

そのような感覚があれば「勝てない戦争をあえて始め、戦死者230万人のうち、餓死者が140万というまずい戦略で、かつ国内の空襲・原爆投下を許して軍人以外の数多の戦争被災者を出し、国民生活を破壊した責任は誰が負うべきなのか。」

という言葉は違った表現になるはずだと思うのですが如何でしょうか。

私自身は、責められるべきは、戦争という手段に追い込んだ列強の側であると思っています。



Commented by 花うさぎさん

2008/10/21 21:45

To seelischさん こんにちは。

> 西洋に倣った法治国家として歩み始めた日本は、毅然とした態度でこの時代スジを通しました。

この事件は日本の三権分立という視点で画期的でしたね。何せ明治天皇ですら現地に飛んで謝罪したくらい当時の日本にとっては仰天事件でした。

> [パール](#)博士も兎島裁判長も、その意味でアジアの宝、法の良心と思います。

素晴らしいコメントありがとうございます。ひるがえって今の日本の裁判官は[大丈夫](#)か？、と思います。

同じ明治の日露戦争で活躍した乃木希典、東郷平八郎両氏は軍神として東京に乃木神社、東郷神社に奉られていますね。明治時代は多くの偉人を輩出し、ある意味国民は貧しかったけれども日本の輝かしい時代でもあつたと思います。



Commented by 花うさぎさん

2008/10/22 09:12

To 出羽之守さん こんにちは。

> ご存知かもしれませんが、[パール判事](#)の顕彰碑は京都東山の護国神社にもあります。

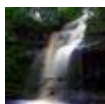
はい、こちらの方が遙かに古いですよね。必ず参拝に行こうと思っています。

> 坂本竜馬、中岡慎太郎、桂小五郎ほか志士達の御霊が祀られていてお参りするだけで維新前夜の気分になれる気がします。

いいですね～。想像するだけでわくわくします。この時代の気概がいまの日本にあれば、と思います。

> 拙宅の不肖の中坊二人に30分ほどこんこんと、いかに日本人が忘れてはならぬお方か言つて聞かせたことをふと思い出しました。

出羽之守さんのような親に育てられたお子さんは幸せです。徹底的に日本の道徳を伝えて下さい(^^)。



Commented by du-staroさん

ばんたか様

会社が倒産したとき、「社員は悪くありません、経営者の責任です」といった社長がいました。もちろん会社が倒産したとしたら、それは社員・株主を含めた会社全員の責任ですが、社員は失業という形などで責任をとりずす。

それに加えて、経営者には経営責任があるでしょう。一般社員の責任と経営者の責任というのは違うと思います。



Commented by **RAM さん**

2008/10/22 10:19

To du-staroさん

> ちょっと例えは悪いのですが、窃盗犯を殺人罪で起訴しても無罪ですが、窃盗については有罪のはずです。東京裁判は、裁判そのものに問題があるので、[パール判事](#)は無罪としていますが、敗戦責任について無罪と言っているわけではありません。

* 朝から、見事な自爆を見せていただき、有り難うございます。

[パール判事](#)が「敗戦責任」について云々する事はあり得ませんね。純粋に「国内問題」ですから。

と言う事は、国際裁判としての東京裁判の不法性は、あなたも認められた、と言う事ですね。

では、今後「戦犯」という言葉は、使わないでくださいね。

* さて、私が<http://hاناusagi.iza.ne.jp/blog/entry/729298/>

2008/09/26 21:37で、あなたに投げかけた言葉に、まだお答えがないようですが、「[天皇](#)以外、霊を神に出来ない」という嘘をまだ続けますか？

「靖国に勅許が下りていない」事で、勅使下向の矛盾を説明できないままですか？

「経営責任」を持ち出す事で、国民の真の反省を妨げ続けるのですか？



Commented by **du-staro さん**

2008/10/22 15:02

RAM 様

申し訳ありません、9/26のコメントは、日曜夜遅くのコメントのようで見落としておりました。

ご質問ですが、

1. 各地の神社はそれぞれの祭神を祀っています。地方の一氏族の神ならその氏族の同意があればいいでしょうし、ある家族が自分の先祖を神として祀るのもあると思います。しかし、一宗教法人が祀ったからといって、国の英霊にはなりません。

2. 勅許と勅使は異なるものです。

3. 国民の真の反省を妨げるつもりはありません。いくらでもやってください。それとともに戦争指導者の責任も考えるべきだと言っているのです。国内問題としての敗戦責任はもっと論ぜられるべきだと思っています。



Commented by **RAM さん**

2008/10/22 22:08

To du-staroさん

> 1. 一宗教法人が祀ったからといって、国の英霊にはなりません。

* であれば、誰が文句を言うことでもありませんね。誰だ参拝しようが、しまいが、他人がとやかく言うことではないでしょう。貴方が言われることは、そこに最大の矛盾があるのです。

> 2. 勅許と勅使は異なるものです。

* 皇室が、真に不都合なことに勅使を下向させますか？ 勅許を出されないのは、[憲法](#)に抵触する恐れ、と言う意見が出たこと、政治的利用をされるのを嫌われたことなどによるものだという情報も、漏れ承っておりますが・・・。

> 3. 国民の真の反省を妨げるつもりはありません。いくらでもやってください。それとともに戦争指導者の責任も考えるべきだと言っているのです。国内問題としての敗戦責任はもっと論ぜられるべきだと思っています。

* これを真剣にするなら、まず、その戦争指導者なるものを選んだ国民全体が、加害者だと言うことを認めなければいけません。南京陥落の提灯行列は、強制された動員ではなかったのですよ。開戦責任は、国民全体にあります。貴方が言われた「餓死者が140万というまズい戦略」などの、戦争遂行上の技術面での下手さは、もっと研究されて然るべきでしょうが、「国内の空襲・原爆投下を許して軍人以外の数多の戦争被災者を出し、国民生活を破壊した責任」は、当時の国民が齊しく負わなければいけないのです。一部の者をスケープゴートにして、他を被害者という認識をする限り、反省など、生まれませんね。卑怯な心が育つだけです。



Commented by **ばんたか さん**

2008/10/23 20:54

To du-staroさん & RAMさん

他事にかまけてまごまごしているうちに、RAMさんに先を越されてしまいました。

10/22/ 22:08のRAMさんのコメントの後段は、まさしく私が申し上げたかったことです。

2008/10/24 11:26

もう一つ、目に見える利害得失だけで開戦の責任を云々するのは、的を外す恐れがあると思います。

民族の誇りを貶められた時、『決然として立つ』ということもあるのではないのでしょうか。

少なくとも当時の国民は、石油が欲しい、領土は大きい方がいいなどと思っていたわけではない、当時の国民学校の児童だった私は思います。



Commented by **yomoji** さん

2008/10/24 11:45

To hanausagiさん

>[アメリカ](#)はいまでも「これによって上陸すれば犠牲になったであろう多くの米軍兵士の命を救った」などと原爆投下を正当化していますが、真っ赤なウソです。日本の実情をとっくの昔に極めて正確に把握していたのです。

敗北は認めても、降伏はしない。たとえ日本人全員玉砕しても降伏はしないと頑強に主張していた一部軍部上層部がいたようですね。その頑なさをゆさぶるいいチャンスが原爆(とソ連参戦)だったと当事者(降伏派)の誰かが言っていたような。

>事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せず温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。そして原爆の威力を調査検証する作業は念を極めました。

そういう説がありますね。その説(ソ連との覇権争い)を最初に主張したある[アメリカ人](#)の著書に致命的欠陥が何箇所もあると指摘されています。

日本の降伏は時間の問題だったでしょうが、原爆とソ連参戦がなければ戦争はさらに長引き双方の犠牲者数は相当大きなものになった可能性はありますね。



Commented by **yomoji** さん

To du-staroさん

>hanausagi様

> 戦争指導者は、この戦争の敗戦の責任があります。勝てない戦争をあえて始め、戦死者230万人のうち、餓死者が140万というまズい戦略で、かつ国内の空襲・原爆投下を許して軍人以外の数多の戦争被災者を出し、国民生活を破壊した責任は誰が負うべきなのか。

幕末明治以来の流れから言って、真珠湾攻撃の責任は[連合](#)国側、特に[米国](#)にあると思います。すくなくとも日本だけが悪くて始めた戦争ではありません。

[パル](#)判事は、[ハル](#)ノートのようなものを受け取ったら、モナコやルクセンブルグのような小国でさへ武器を取って[米国](#)に立ち向かったらどうしようかなことを言っています。

戦っても負け、戦わずとも負け。同じ負けるなら戦って負けたほうが日本人としての誇りが保てる。後世の日本人はこの誇りをもって必ずや再起するであろう。東條をはじめ当時の指導者にはそのような気持ちがあったと言いますね。

ただ、この判断(戦っても戦わなくても負け)が正しかったかどうかは議論の分かれるところだと思います。



Commented by **花うさぎ** さん

2008/10/24 13:32

To yomojiさん

>その頑なさをゆさぶるいいチャンスが原爆(とソ連参戦)だったと当事者(降伏派)の誰かが言っていたような。

まあ、この辺を検証し出すときりがないのですが、[天皇](#)制の存続についての文言がなかつ

たこと、間抜けなことにソ連の仲介を期待したこと、直前になっても朝日や毎日などが戦争継続の強硬論を展開していた、等々、いろいろあったようです。

2008/10/24 16:58

>原爆とソ連参戦がなければ戦争はさらに長引き双方の犠牲者数は相当大きなものになった可能性はありますね。

それがアメリカの主張です。人類史上犯してはならない大量無差別殺戮という明々白々な国際法違反を隠すための。ソ連の参戦などたいした意味は持たないと考えていますが、世界は想像以上に腹黒いことを日本民族は学んだ訳です。



Commented by **yomoji** さん

To hanausagiさん

2008/10/24 18:06

>まあ、この辺を検証し出すときりがないのですが、

そうですね。しかし、きりがいいながら以下のような断定、結論を出すのはいかがなものでしょうか。

>アメリカはいまでも「これによって上陸すれば犠牲になったであろう多くの米軍兵士の命を救った」などと原爆投下を正当化していますが、真っ赤なウソです。日本の実情をとっくの昔に極めて正確に把握していたのです。

>事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。そして原爆の威力を調査検証する作業は念を極めました。

>天皇制の存続についての文言がなかったこと、間抜けなことにソ連の仲介を期待したこと、直前になっても朝日や毎日などが戦争継続の強硬論を展開していた、等々、いろいろあったようです。

天皇制存続についての文言不在は残念なことでしたがそれを即原爆投下のための引き伸ばし作戦ととるとすれば(hanausagiさんがそうとっているというわけではありません)、それはどうでしょうか。

ソ連参戦と原爆投下はそれがなければ徹底抗戦を主張していた一部指導者の抵抗を多少なりともゆるがせ、天皇のいわゆる聖断を引き出し強行するまたとない口実となった。そのような意味で敵味方双方のさらなる犠牲を食い止めたと言えるのではないのでしょうか。

これはアメリカの主張とは別問題です。事実かどうかの問題です。

本土上陸作戦などやらなくても兵糧攻めで降伏は時間の問題だったという議論もあるようですが、餓死しても降伏はしないという一部指導者が頑強に頑張っていたようですから。

敗北と降伏を混同すべきではないという意見もあります。徹底抗戦論者も日本の敗北はとうの昔に認めていた。しかし、死んでも降伏はしないと頑張っていた。そういう指導者の決心を多少なりともゆるがせるには原爆とかソ連参戦とかの口実が必要だったのではないのでしょうか。



Commented by **花うさぎ** さん

To yomojiさん

>以下のような断定、結論を出すのはいかがなものでしょうか。

それが私の見解ですが何か問題がありますか？。

>原爆とかソ連参戦とかの口実が必要だったのではないのでしょうか。

貴方の意見は強硬路線を主張する閣僚や国民を納得させるためにはソ連参戦も原爆投下も必要だった(やむを得なかった)、だから敗戦を決断できたというものですか？。

私はちょっと違いますが、貴方の考えとして聞いておきます。



Commented by **yomoji** さん
To hanausagiさん

2008/10/25 19:27

>それが私の見解ですが何か問題がありますか？。

もし間違った見解なら問題があると思いませんか。自分の内にしまっておくならともかく公表公言するとなれば。

>>原爆とかソ連参戦とかの口実が必要だったのではないのでしょうか。

>貴方の意見は強硬路線を主張する閣僚や国民を納得させるためにはソ連参戦も原爆投下も必要だった(やむを得なかった)、だから敗戦を決断できたというものですか？。

いいえ。降伏派にとっては「〜とかの口実」が必要だったのではないかということです。ソ連参戦、原爆とは限りません。その類の口実がなければ降伏は遅れかえって敵味方双方の犠牲が大きかったであろうということです。これは米国の原爆投下の動機とは別の歴史的事実(結果)の問題です。

> 事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。

これは、[英国](#)物理学者P.M.S.ブラケットや「原爆外交」の米人[ガール](#)・アルペロヴィッツなどが言い出した説のようですが、彼らはまともな証拠資料をだしていないか、出したとしてもトリミングで歪曲していると指摘されています。たとえば、Robert James Maddox, "Gar Alperovitz: Godfather of Hiroshima Revisionism" in Robert James Maddox, ed., Hiroshima in History: The Myths of Revisionism (University of Missouri Press, 2007).もちろん、マドックスのアルペロヴィッツ全否定が間違っている可能性もありますが、マドックスの指摘するアルペロヴィッツのトリミング、歪曲はひどいものです。私の見るところそれは動かしようがありません。



Commented by **花うさぎ** さん
To yomojiさん

2008/10/25 20:10

>もし間違った見解なら問題があると思いませんか。

ではどこが間違っているのか、何故間違っているといえるのかその根拠とともに示して下さい。



Commented by **yomoji** さん
To hanausagiさん
>To yomojiさん

2008/10/26 08:10

>>もし間違った見解なら問題があると思いませんか。

>ではどこが間違っているのか、何故間違っているといえるのかその根拠とともに示して下さい。

すでにそのことについては触れました。

「もし」間違っていればですよ。私のほうが間違っていることを望みますが。

残念ながらあなたが間違っている可能性がかなりあると思います。その根拠についてはすでに述べました。要点をくりかえします。あなたの、

> 事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。

という主張は、P.M.S.ブラケットや[ガール](#)・アルペロヴィッツなどの説に直接依拠するもので、でなければその流れをくむものでしょう。しかし、彼らの説が根本から疑われている

です。マドックスのアルペロヴィッツ批判はかなりの的を射ていると思います。

2008/10/26 09:12

それから、鳥飼研究室(ネット)は以下のようなことを言っています。

原爆投下が、昭和天皇の終戦の聖断をもたらしたのではない。敗北続きの軍、国難・生活難に陥れた日本の指導者たちへの国民の反感という世論が、共産主義革命・国体変革という未曾有の危機を予感させた。日本の指導者たちは、広島・長崎への原爆投下を、終戦(降伏)する口実としたが、核兵器の恐ろしさや戦後世界の核戦略は理解できなかった。

<http://www.geocities.jp/torikai007/war/1945/hiroshima.html>

原爆は降伏の口実であった。しかし、その口実がなければ聖断が可能であったかどうか。



Commented by **花うさぎ** さん
To yomojiさん

>という主張は、P.M.S.ブラケットやガール・アルペロヴィッツなどの説に直接依拠するもの、でなければその流れをくむものでしょう。しかし、彼らの説が根本から疑われているのです。マドックスのアルペロヴィッツ批判はかなりの的を射ていると思います。

>

>それから、鳥飼研究室(ネット)は以下のようなことを言っています。

貴方の説の根拠である上記の人の名は私にとっては守備範囲外です。ですから貴方が的を得ていると思うという「マドックスのアルペロヴィッツ批判」を示して下さい。

>事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。

この私の認識は渡部昇一氏をはじめとする保守論壇の多くの方々の論文、雑誌記事、映像、座談会、講演とうとうの数年間の積み重ねによるもので、鳥飼研究室がこういっているから違ふと云われても答えようがありません。



Commented by **yomoji** さん
To hanausagiさん

2008/10/26 14:56

>貴方の説の根拠である上記の人の名は私にとっては守備範囲外です。ですから貴方が的を得ていると思うという「マドックスのアルペロヴィッツ批判」を示して下さい。

すでに示しましたが、もう一度繰り返します。

>Robert James Maddox, "Gar Alperovitz: Godfather of Hiroshima Revisionism" in Robert James Maddox, ed., Hiroshima in History: The Myths of Revisionism (University of Missouri Press, 2007). マドックスの指摘するアルペロヴィッツのトリミング、歪曲はひどいものです。私の見るところそれは動かしようがありません。

トリミングの具体例は原文にあたってください。ただ、私はアルペロヴィッツを読んでいないのでマドックスだけからアルペロヴィッツ説を単純に全否定できないと思いますが、とにかくトリミングはひどいものです。彼の説の信憑性を疑わせるに十分です。

>この私の認識は渡部昇一氏をはじめとする保守論壇の多くの方々の論文、雑誌記事、映像、座談会、講演とうとうの数年間の積み重ねによるもので、鳥飼研究室がこういっているから違ふと云われても答えようがありません。

原爆口実説は私だけが言っていることではないということです。というより私はそれを比較的最近知ったにすぎないのです。MaddoxのHiroshima in History: The Myths of Revisionism に寄稿しているサダオ・アサダ(麻田貞雄?)なる人物も同様の説を主張しています。彼は一応その筋の専門家らしいから手ごわいでしょう。

渡部氏は多分マドックスのアルペロヴィッツ批判を読んでいないでしょう。他の論者は押し



て知るべしです。ほとんどがアルペロヴィッツの無批判な引用か孫引きでしょう。

Commented by [花うさぎ](#) さん
To yomojiさん

2008/10/26 22:32

どうも論点が噛み合いませんね。

私はアメリカの原爆投下は明白な国際法違反で、「投下したから多くの米国人兵士が助かった」というアメリカの主張は投下を正当化するための詭弁であるという主張をしました。

それに対して貴方は「原爆投下が日本の降伏の口実になった」と云います。だから本土上陸で多くの死傷者を出さずに済んだ、という論法で原爆投下を認めているように思えます。

そうだとしたらこれ以上論争しても無駄でしょう。私は誰がなんと言おうと原爆投下はアメリカ軍が日本に勝利するために必要に迫られて実行したとは思っていませんし、その考えを変えるつもりもありませんので。

ガー・アルペロビッツの「原爆投下決断の内幕」の信憑性が問われているとかいないとかの問題ではありません。



Commented by [yomoji](#) さん
To hanausagiさん

2008/10/27 19:10

yomojiではなぜか投稿拒否なので、IDを少し変えました。

> 事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。そして原爆の威力を調査検証する作業は念を極めました。

という主張は、アルペロビッツなどの主張と同じですね。だから問題なのです。

ところで、

> [アメリカ](#)はいまでも「これによって上陸すれば犠牲になったであろう多くの米軍兵士の命を救った」などと原爆投下を正当化していますが、真っ赤なウソです。日本の実情をとっくの昔に極めて正確に把握していたのです。

という主張の、

> 日本の実情をとっくの昔に極めて正確に把握していたのです。

ですが、本当にそうだったのでしょうか。たとえば、阿南惟幾ら決戦(玉砕)論者が、[天皇](#)制維持に加えて、[連合](#)軍がとてつもないようなさらに三つの降伏条件([連合](#)軍は日本を軍事占領しない、日本による自主的非武装、日本自身による戦犯裁判)を主張していたことなど「正確に把握していた」のでしょうか。間違っていたら指摘してください。

もっともそこまで正確に把握していたなら、かえって原爆などの強硬手段に訴えたのはやむを得ないという理屈も成り立ちますね。



Commented by [花うさぎ](#) さん
To yomojiさん

2008/10/27 21:40

>yomojiではなぜか投稿拒否なので、IDを少し変えました

これは私のブログでのことですか？。私は何もしてませんけど？。



Commented by [yomoji](#) さん
To hanausagiさん

2008/10/29 01:58

>これは私のブログでのことですか？。私は何もしてませんけど？。

私のコンピュータの問題だったのでしよう。

先の投稿は前半がちょんぎれていたの以下に。

>私はアメリカの原爆投下は明白な国際法違反で、「投下したから多くの米国人兵士が助かった」というアメリカの主張は投下を正当化するための詭弁であるという主張をしました。

いえ、それだけではなく、

>事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。そして原爆の威力を調査検証する作業は念を極めました。

とも言っています。私は、それには強力な反論批判がある。それをクリアしない限り上記のような主張は誤りである可能性が強いと主張しているのです。私が間違っているといいますが、これは私の心情とは無関係な客観的史実の問題です。

>それに対して貴方は「原爆投下が日本の降伏の口実になった」と云います。だから本土上陸で多くの死傷者を出さずに済んだ、という論法で原爆投下を認めているように思えます。

というより、歴史的事実(結果)として原爆やソ連参戦が頑なな本土決戦論者を抑えて「聖断」に持ち込んだ。そのような聖断がなければ、双方の犠牲者数は原爆のそれを上回った可能性が濃厚だと言っているのです。

だから原爆は必要であったということは別問題です。たとえば、犠牲者数の問題ではない、原爆そのものが許せないのだという議論もあるでしょう。今私はそのようなことを議論しているわけではありません。

>そうだとしたらこれ以上論争しても無駄でしょう。

そうではないのですから、一方的に論争を打ち切るのは逃げることでしょう。

字数制限のため以下は次の投稿へ。



Commented by **yomoji** さん
To hanausagiさん

2008/10/29 02:07

さっきの続きです。

>私は誰がなんと言おうと原爆投下はアメリカ軍が日本に勝利するために必要に迫られて実行したとは思っていませんし、その考えを変えるつもりもありませんので。

>誰がなんと言おうと...その考えを変えるつもりもありませんので。

それは宗教的信念(原理主義みたいなもの)のようなものですね。そういうのはここではやばいと思いませんか。

>ガー・アルペロビッツの「原爆投下決断の内幕」の信憑性が問われているとかいないとかの問題ではありません。

いえ、あなたの

>事実は、既に始まっていたソ連との覇権争いで優位に立つため、日本軍がとうてい飲めない条件を出して降伏を遅らせて原爆開発の時間稼ぎをし、その威力を確かめるために数力所の都市は通常爆撃せずに温存し、完成したら何の躊躇もなくゴーサインを出したのです。そして原爆の威力を調査検証する作業は念を極めました。

という主張は、アルペロビッツなどの主張と同じですね。だから問題なのです。

2008/10/29 10:45

以下はすでに投稿したので省略。

余談。タイムスパン。

原爆投下の遠因である日米戦をひき起こしたのは大局的には米英ソ支連合国側なんだから、その意味でアメリカには原爆投下や東京無差別爆撃などの責任があると思います。そののみか、日本軍のせいになっている多くの不幸な出来事(上海事変、南京事件、重慶爆撃、真珠湾、パターン死の行進等々)の責任の大半は米英ソ支にあると思います。要するに原爆や戦争犯罪の責任問題は少なくとも幕末明治期まで遡らないと公平な判断ができないと考えます。

私があなたとのやりとりでしつこい(と思われるなら)のは、日本のことを思うからです。もしあなたの原爆解釈が間違っているならそれは結局日本のためにならないからです。



Commented by **花うさぎ** さん

To yomojiさん

・yomojiではなぜか投稿拒否なので、IDを少し変えました
私が拒否の設定をしたかのようなイメージを与えている

・論争を打ち切るのは逃げるということでしょう。

私が負けたという印象操作をしている

・それは宗教的信念(原理主義みたいなもの)のようなもの
今度はレッテル張りか

私のブログでよくこんな事を書き込むな〜?。まず、この三点について明確な謝罪を求める。

貴方がどんな人なのか判らないが、10月5日にはじめてIZAに登場してから古森さんのブログに4コメント、私のブログに8コメントしているだけだ。

ただかアメリカの歴史学者の説を持ち出して、私の意見はそれに近いからダメ、いまは否定勢力が優勢という。それを持ってして事実だと言い切る。

冗談ではない。アメリカでも日本でもいろいろな見方、解釈があるのは当然ではないか。私は日米戦争は「アメリカが仕掛けた」と認識しているが、コメントのやりとりを見て論争しても無駄と感じたらそういったまで。

自説に自信があるなら、自分でブログを開設して堂々と発表すれば良いではないか。私も先輩ブロガーに云われてやっと8月に開設したばかりだ。

上記の三点、私への明確な謝罪がない限り私のブログから退場して貰う。



Commented by **花うさぎ** さん

To yomojiさん

2008/10/31 20:24

予告したとおり、謝罪がなかったので以降は貴方の発言は削除し、私のブログからは退場してもらいます。